

報告者：徳堂（就労支援室）

令和6年度 第1回台東区障害者地域自立支援協議会（就労部会）報告

1 開催日

毎月第3水曜日 17:00～18:30

1/17、2/14、3/13、4/17 4回（リモート開催）

2 検討した内容

（1）令和5年度検討テーマについて

「中高年の働き方」をテーマに生活・健康・家族・仕事の4つの課題について、事例を出し合い、対応方法の検討を行ってきた。

検討していく中で、中高年の障害者やその家族がライフステージごとに想定される主な課題を事例として分かりやすく紹介することで、今後同じ様な課題に直面するかもしれない方々が、自分の事として捉え考えるきっかけになることを目的とし参考資料の作成を進めてきた。

しかし、障害の多様化、高齢化に伴う様々な課題が複合的に係るケースが想定され、他の関係機関との協力連携が必要不可欠であるとあらためて感じた。

ここで新たに浮き彫りになった課題については今後、議論を深めていく。

※検討事例課題一覧表参照

（2）講演会について

令和6年3月8日（金）オンラインにて、「中高年の働き方を考える」をテーマに講演会を2部構成で行った。

1部は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用機構中央障害者雇用情報センター障害者雇用支援ネットワークコーディネーター様より、企業アンケート調査から得られた課題や配慮事項により障害者雇用の現状と今後について説明があり、理解を深めることができた。

また、第2部では株式会社新陽ランドリー加藤幹夫社長より、動画などを通して従業員の高齢化への対応方法や仕組み作り、余暇支援で老化予防の取り組みなど、会社としての役割について学ぶ良い機会となった。

<部会員の感想>

- ・余暇活動・体力作りは重要な事であると思った。体力がないと仕事が続かない。余暇活動についても、就労するための体力作りとして必要だと感じた。
- ・余暇活動を企業としてどこまでできるかという思いはあるが、今までどおりイベント等を開催し、障害者同士コミュニケーションをとり、会社に来るモチベーションになればと思う。
- ・フィードバックを習慣化させることが大事だと思った。できていることを

伝えてあげないと仕事の質も下がる。いかに仕事の提供の仕方を工夫できるか勉強になった。余暇活動については、体を動かす内容も取り入れていきたいと思った。

- ・新陽ランドリーでは、段階に応じた支援が包括的にできる環境がありよいと思った。仕事と働くは違うという視点も気になった。利用者が腰を据えて仕事ができるよう、工夫していきたいと思う。

(3) 勉強会

◆1月 困難事例 (就労継続支援 B 型事業/A 型事業所 HOPE)

30代前半・反復性うつ病性障害

<課題>

- ・就労継続支援 B 型事業所の通所に対する意欲が低下し、モチベーションを上げることが困難な利用者に対して、どのようなアプローチが考えられるかを検討したい。

<部会員からの意見>

- ・本人の働く意欲はあるのか。働く意味が少しでも見つかるとうい。
- ・何がモチベーションになるかを探っていく。
- ・手先が器用で絵やアクセサリが好きであるなら、自主製品を作成してもらうのはどうか。
- ・通所率が下がってしまう利用者に対し、好きなことをできるようにしていきたいと考えている。仕事に楽しさを入れてみることは重要かもしれない。

<今後の取り組み>

- ・すぐに生産活動に繋がらなくても、まずは家を出て通う事が習慣化できるように、本人が興味のあるモノづくりをしてもらうことなど検討したい。

◆2月 困難事例 (就労支援室)

40代後半・知的障害・GH入居中

<課題>

- ・グループホームのルールを守ることや他利用者との人間関係の構築が難しい。
- ・生活環境の変化を引きずらず、これまで通りの作業を続けていけるのか、本人の頑張りや支援が上手くかみ合うのか問題である。
- ・後見人の申請をし、財産整理を行うこととなっているが、実家がなくなる事と帰れない事を理解した際に、どのような状況になるのかが不安要素である。

<部会員からの意見>

- ・通勤寮に入ることが決まった方(30代後半)。本人は知的障害があるが、働くのは当たり前だと思っている。働くは当たり前として、いつまでも親元にいることは出来ないことという話をして、「グループホームで暮らす練習をしよう」という提案をしたケースがあった。
- ・本人と親がグループホームへの入居を嫌がっているケースでは、支援者の

手があるうちに環境の構築をしておかないと大変になるという話をしている。

- ・親が60代、本人が20代前半の方について、財産の管理、両親が何かあった時の対応（ショートステイ等で対応）を進めている。
- ・親の高齢化で本人の生活がうまくいかなくなっているという現状を理解してくれないことがある。

◆令和6年度就労部会勉強会（予定）

月	担当事業所	内容
5月	就労支援室	事例検討（就労支援室）
6月	つなぐ台東	事例検討（就労継続支援B型事業所）
7月	ありがとう	事例検討（就労移行支援事業所）
8月	えん(かれん)	事例検討（就労継続支援B型事業所）
9月	ハローワーク上野	障害者雇用について
10月	HOPE	事例検討（就労継続支援B型事業所）
11月	メトロフルール	障害者雇用の現状と課題
12月	つなぐ台東	事例検討（就労継続支援B型事業所）
1月	ありがとう	事例検討（就労移行支援事業所）
2月	就労支援室	事例検討（就労支援室）

3. 今後のスケジュール

- ・令和5年度の検討結果を踏まえた令和6年度のテーマを検討。
- ・企業見学会についての検討。
- ・講演会についての検討。